

☆☆ リレーコラム ☆☆

絵本の中にはその地方の方言で書かれている本がありますが、私たちが親しみやすいのは関西弁。

その中でも「ぼちぼちいこか」は外国のお話。なのに日本語訳したら、どういうことか、何と関西弁になってしまった！

「ぼく、消防士になれるやろか」「なれへんかったわ」と、かばくんは色んなことに挑戦しますが、体が重かったり力が強すぎたりで、どれも、うまくいきません。ゆっくり考えようとハンモックへ。「ま、ぼちぼちいこかーということや」かばくんの表情にアハハと笑える。ほっとする一冊です。

鬼という悪い事をする、怖いとかのイメージはありませんか？

「オニのサラリーマン」というお話は、鬼の世界にも、いろいろ事情があるってお話です。

赤鬼のオニガワラ・ケンが地獄カンパニーのサラリーマン。毎日ビシッとスーツを着て満員バスで通勤します。会社に着くと、上司のえんま大王の指示で色々な仕事を振り分けられます。オニガワラ・ケンは血の池地獄の見張り担当ですが、最後はえんま大王に叱られトホホ。こんな日は一杯飲んで帰ろうか…絵がとても特徴的。

お話も、サラリーマン同士で会話をしながら着替える様子、奥さん手作りのお弁当を開いて笑顔になったり、仕事で居眠り、ミスしてえんま大王に怒られている姿も、人間味溢れて面白い。「もうストレスでツノ、折れそうや」「いやあ、金棒重くて肩こるわあ」と、関西弁で親しみやすいのです。地獄に住んでいるオニの世界をどうぞのぞき見てくださいね。

M・Y



ヨムヨムだより No.2

令和7年 5月15日

☆☆中央図書館でヨムヨム☆☆

2025年 こども読書の日 4月20日 14時から、メンバー7名参加

演目 紙芝居:「ひもかとおもったら」 古川 タク

絵 本:「うえきばちです」 川端 誠

大型絵本:「くものすおやぶんとりものちょう」 秋山 あゆ子

拍子木の音で始まりました。

子ども達は真剣なまなざしでそれぞれのお話を静かに聞いてくれました。

紙芝居では、恐竜の絵に「ステゴサウルス」と恐竜名を答えてくれた子がいて驚きました。

2番目の絵本、最後のページの絵が三つの目の顔になると「三つ目小僧だ」と次の展開を予想している子がいました。不思議で面白い絵本に子どもも大人も聞き入っていました。

最後のくものすおやぶんとりものちょうは、着物姿のおやぶんとぴょんきちの登場にびっくりした様子の子も達でしたが、おやぶんと言葉のやりとりを楽しみながら「かくればね」探しをしてくれました。見せ場の「しゅぱぱぱぱっ」では、四方向から蜘蛛の糸が投げられ、子ども達は糸に絡まりながら嬉しそうにしていました。

最後、拍子木でしめて、3演目無事に終了しました。

ありがとうございました。



◆ 読み聞かせヨムヨム ◆

毎月2回、中間休みの10時15分から10時30分まで、多目的室でおこないます。

児童のみなさん、聞きにきて下さいね。

▼▼ 次回の予定 ▼▼

6月 5日(木) (低学年むけ)

6月 12日(木) (中・高学年むけ)

☆☆ 今月のおすすめ絵本 ☆☆

『わたしほんとうにうんががいい』
イギリス民話 文・絵:せな けいこ

にこにこばあちゃんがひろったつぼの中には金貨がどっさり。重いつぼをショールでしばり、引っぱって歩くうち、金貨は銀、鉄、石へと代わっていきます。「わたし、こんな石がほしかったのよ」。

にこにこばあちゃんの口ぐせは、「わたしほんとうにうんががいい」。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

『トドにおとどけ』

作:大塚 健太 絵:かのう かりん

しろくまさんから、トドくんに誕生日のプレゼントを届けて欲しいと頼まれたカモメさん。ところが、出会うのはよく似たアシカやアザラシばかりで、なかなかトドくんにたどり着けず…。

くすくす笑えるカモメさんのお話。最後にはびっくりの結末がまっています。

◆ ごいっしょに ヨムヨムしてみませんか? ◆

朱二小ヨムヨムでは、メンバーを募集しています。毎月2回、中間休みに行う読み聞かせや、ヨムヨムだよりの発行などの活動をしています。少しでもご関心があればぜひ、ご都合のつく日に一緒に読み聞かせしませんか? ヨムヨムの見学もしていただけます。

詳しくは、教頭先生までお問い合わせ下さい。
メンバー一同、お待ちしております。